

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成 31 年度
----	----------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・既存の「暮らしあったか便利手帳」の更新にあたり、掲載内容等の検討を行う。・地域の支え合いを進めるため、地域住民の機運醸成を図る。・地域課題解決型ケア会議を活用しながら、地域包括支援センターと連携し、地域支え合い推進員（直営）としての活動を行う。
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・「暮らしあったか便利手帳」の掲載内容について、調査した情報をカテゴリー別にまとめる等の見直しを行った。作成検討には、掲載内容やレイアウト等について、地域包括支援センターの意見も反映させている。・老人クラブ連合会、小学校区ごとにある地域組織等の会合等で出前講座を実施したことで、地域の支え合いや介護予防の重要性についての周知や理解に繋げることができた。・地域課題解決型ケア会議を活用しながら、地域包括支援センターと連携し、地域支え合い推進員（直営）としての活動を行ったが、地域住民が主体的に実施できるよう案を提示する等のアプローチの開始までは至らなかった。
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none">・互助活動を地域住民が実施していくには、地域の支え合いを理解していただく必要があり、理解には時間を要するため、地域の支え合いや介護予防の重要性について説明し、引き続き機運醸成を図る。また、高齢者がどのような課題（困りごと）を抱えているのかを把握するために地域課題解決型ケア会議の活用を今後も進めていく。

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・更新版「暮らしあったか便利手帳」を、ケアマネジャー等に配布し活用を促す。・地域課題解決型ケア会議を活用しながら、地域包括支援センターと連携し、地域支え合い推進員（直営）としての活動を行う。
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・更新版「暮らしあったか便利手帳」を、ケアマネジャー等に配布し活用を促した。今後、ケアマネジャー業務の中で実用性や機能面等について確認が必要である。・地域支え合い推進員として、地域包括支援センターと当該事業の方向性を議論し、事業の進め方をまとめ、地域課題解決型ケア会議を活用した中で地域での課題（困りごと）について取り組んだが検討するにとどまった。
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none">・保険外サービスをまとめた「暮らしあったか便利手帳」に掲載する事業所を拡大したいが、事業所の信頼性をどう担保するかの課題があり、他市町村の事例等を基に検討していきたい。・地域課題解決型ケア会議で出された意見や課題（困りごと）が、地域全体の案件であるのか把握が難しく、そのため、解決策を見出せず終わってしまうことが多い。今後、他市町村の事例も参考とした中で、引き続き地域包括支援センター等と検討しながら、地域とも一緒に検討していく。

